

# 直流電源装置 整流器点検記録

別紙 2

設置場所	2階 電気室	形 式	GMSC100-30	メーカー名	(株)ユアサコーポレーション/(株)GSユアサ			
用 途	制御・操作用	製造番号	992638/61200746	点検者				
周囲温度	℃	製造年月	2000年2月	点検日	年	月	日	
No.	項 目	内 容		判 定 基 準	結 果			判定
1	運転状態 の確認	交流入力電圧		定格 三相 440 V ± 10 % 396 ~ 484 V以内	R-S V	S-T V	T-R V	
		直流出力電圧		定格 单相 120.5 V ± 1.5 % 118.7 ~ 122.3 V以内	点検前 V	点検後 V		
		直流出力電流	整流器	定格電流値以下であること 定格 30 A以下	点検前 A	点検後 A		
			負荷		点検前 A	点検後 A		
			蓄電池		点検前 —	A	—	A
		負荷電圧	直結負荷	蓄電池充電電圧とほぼ同電 位であること	点検前 —	V	—	V
補償負荷	90 ~ 110 V以内		点検前 V	点検後 V				
2	清掃	盤内外のじんあい・汚れの除去						
3	各部締付 確認	ボルト・ナット・ビスの締付・半田付け・コネクタの装着状態		緩み・接触不良がないこと				
4	部品状態 の確認	MCCB・電磁接触器類		動作不良・変形・キズ・亀裂・ 変色・発錆・腐食・異音・異 臭・緩み及び異常温度がな く交換時期を過ぎていない こと				
		変圧器・リアクトル類						
		CNV・INVユニット類						
		ヒューズ・リレー・タイマ・継電器・検出器・変換器(トランスジェネサ等)類						
		制御装置						
		電解コンデンサ						
その他								
5	絶縁抵抗測 定	DC500V絶縁抵抗計にて AC-E,DC-E,AC-DC間を測定		各 0.4 MΩ 以上	AC-E MΩ	DC-E MΩ	AC-DC MΩ	
6	充電切換動 作確認	蓄電池温度警報時自動的に保護充電に切り換わること		定格 116.1 V ± 1.5 % 114.4 ~ 117.8 V以内	V			
7	直流出力電 圧特性確認	手動充電電圧調整範囲の確認		最小値(以下) 最大値(以上) — V — V	最小値 — V	最大値 — V		
8	直流出力電 流特性確認	蓄電池実負荷放電にて垂下電流値の確認		定格電流値の 120 % 以下 36 A 以下	A			
9	電圧計指示 確認	浮動充電の指示値		階級フルスケール 誤差 1.5級 200V ± 1.5%以内	指示値 V	標準値 V	誤差 %	
10	負荷電圧補 償装置動作 確認	SIDが挿入されている段数のドロップ降下電圧を確認		各段のSID降下電圧を比較し大差のないこと 1段 = (0.6~1.0V) × 素子数	1段目 V	2段目 V		
					3段目 V	4段目 V		
11	直流出力 電圧波形 観測	シンクロスコープ・メモリーハイコーダ等にて観測		導通角がほぼ同一で欠相していないこと	条件：浮動充電 縦軸 V/DIV			横軸 mSEC/DIV
		三相時		周期 2.8 mSEC				



直流電源装置 蓄電池点検記録 (制御弁式)

別紙 2

設置場所	2階 電気室		形式	SNSX-50		個数	9個	
用途	制御・操作用		製造番号	SGIMTG		メーカー名	(株)GSユアサ	
点検日	年	月	日	製造年月	2015年7月		点検者	
No.	項目	内容		判定基準	結果			判定
1	設置環境の確認	壁と換気口と周囲の状況		換気口が塞がれてなく保守管理が容易に行えること				
		周囲温度(使用可能温度)		推奨温度：25℃以下 (40℃以下)	℃			
2	蓄電池収納部の確認	キュービクル・ラック・台車・端子台・扉開閉・台車の引出し等の状態		変形・変色・亀裂・発錆・傷・腐食がなく開閉・引出しがスムーズで引掛かりがないこと				
3	蓄電池の外観確認	電槽・蓋・排気栓		変形・亀裂・漏液等がないこと				
		端子ボルト・ナット・接続バー・接続線		発錆・腐食・変色等がないこと				
		封口樹脂部		亀裂・剥がれ等がないこと				
		温度センサー		取付不良・損傷等がないこと				
4	浮動充電時における特性確認	総電圧		基準 120.4 V±1.0 % 119.2 ~ 121.6 V以内	V			
		単電池電圧		基準 13.38 V ±1.0 V 13.08 ~ 13.68 V以内	最低 ~ 最高	V		
		蓄電池温度		推奨温度：25℃以下	最低 ~ 最高	℃		
		内部抵抗値	正常値	9.36 mΩ未満	~	mΩ	個	
警告値	9.36 ~ 11.00 mΩ未満		~	mΩ	個			
寿命値	11.00 mΩ以上		~	mΩ	個			
5	端子部の締付確認	端子部ボルト・ナットの締付確認		緩み・締付不良がないこと				
6	清掃	蓄電池及び収納部のじんあい・汚れの除去		/				
7	期待寿命	SBA・JEMAの規格による (蓄電池温度:25℃ 0.16CA放電相当)		13年 ~ 15年		/		



交流無停電電源装置 インバータ点検記録 (単相出力)

別紙 3

設置場所	2階 電気室		形式	YS16-10SY7		メーカー名	(株)ユアサコーポレーション/(株)GSユアサ				
用途	監視用		製造番号	992639/31295300		点検者					
周囲温度	℃		製造年月	2000年2月		点検日	年 月 日				
No.	項目	内 容		判 定 基 準		結 果			判定		
1	運転状態 の確認	インバータ給電ランプ点灯確認		点灯していること		点検前		点検後			
		同期ランプ点灯確認		点灯していること		点検前		点検後			
		交流入力電圧		定格 三相 440 V ± 10 % 396 ~ 484 V以内		R-S	S-T	T-R	V	V	V
		バイパス入力電圧		定格 三相 440 V ± 10 % 396 ~ 484 V以内		点検前		点検後			
		インバータ出力電圧		定格 100 V ± 1.5 % 98.5 ~ 101.5 V以内		点検前		点検後			
		インバータ出力周波数		定格 60Hz ± 2.0 % 58.8 ~ 61.2 V以内		点検前		点検後			
		交流出力電圧		インバータ出力電圧とほぼ 同電位であること		点検前		点検後			
		交流出力電流		定格出力容量 10 kVA 定格 100.0 A以下		点検前		点検後			
		蓄電池充電電圧		定格 120.5 V ± 1.5 % 118.7 ~ 122.3 V以内		点検前		点検後			
2	デジタル 計表示確 認	インバータ出力電圧・周波数		表示値が標準値に対して ・電圧は1.5%以内 ・周波数は0.5%以内 ・電流は参考値	電圧		周波数				
		バイパス入力電圧・周波数			電圧		周波数				
		交流出力電圧・周波数			電圧		周波数				
		交流出力電流							A		
		直流電圧・蓄電池電流			直流電圧		蓄電池電流(参考値)		A		
3	清掃	盤内外のじんあい・汚れの除去									
4	各部締付 確認	ボルト・ナット・ビスの締付・半田付け・コネクタの装着状態		緩み・接触不良がないこと							
5	部品状態 の確認	MCCB・電磁接触器類		動作不良・変形・キズ・亀裂・ 変色・発錆・腐食・異音・異 臭・緩み及び異常温度がな く交換時期を過ぎていない こと							
		変圧器・リアクトル類									
		CNV・INVユニット類									
		ヒューズ・リレー・タイマ・継電器・検出器・変換器(トランスジェネレータ等)類									
		冷却ファン									
		電解コンデンサ									
		制御装置・デジタルパネル類									
		その他									
6	絶縁抵抗 測定	DC500V絶縁抵抗計にて AC-E,DC-E,AC-DC間を測定		各 0.4 MΩ 以上		AC-E	DC-E	AC-DC	MΩ	MΩ	MΩ
7	定電圧特 性試験	無負荷で直流入力電圧を変化させ、インバータ出力電圧・自走周波数を確認する		インバータ出力電圧 98.5 ~ 101.5 V以内						V	
				直流入力電圧・自走周波数 参考値		直流入力電圧		自走周波数		V	Hz
8	出力波形 観測	インバータ出力電圧・バイパス入力電圧・交流出力電流波形を観測する		各波形に異常がなくバイパス電源と同期運転していること							
9	給電切換 動作試験	給電切換波形を観測する ①手動 [インバータ⇒バイパス] ②手動 [バイパス⇒インバータ] ③故障 [インバータ⇒バイパス]		無瞬断切換であること							

「4 絶縁抵抗測定」はすべての電源が切れる場合に実施すること



交流無停電電源装置 蓄電池点検記録 (制御弁式)

別紙 3

設置場所	2階 電気室		形式	SNS-100-6	個数	18個(54セル)		
用途	監視用		製造番号	SEXLRD	メーカー名	(株)GSユアサ		
点検日	年	月	日	製造年月	2015年2月	点検者		
No.	項目	内 容		判 定 基 準	結 果		判定	
1	設置環境の 確認	壁と換気口と周囲の状況		換気口が塞がれてなく保守 管理が容易に行えること				
		周囲温度(使用可能温度)		推奨温度：25℃以下 (40℃以下)	℃			
2	蓄電池収納 部の確認	キュービクル・ラック・台車・端子台・扉 開閉・台車の引出し等の状態		変形・変色・亀裂・発錆・傷・ 腐食がなく開閉・引出しが スムーズで引掛かりがない こと				
3	蓄電池の外 観確認	電槽・蓋・排気栓		変形・亀裂・漏液等がないこ と				
		端子ボルト・ナット・接続バー・接続線		発錆・腐食・変色等がないこ と				
		封口樹脂部		亀裂・剥がれ等がないこと				
		温度センサー		取付不良・損傷等がないこ と				
4	浮動充電時 における特 性確認	総電圧		基準 120.4 V±1.0 % 119.2 ~ 121.6 V以内	V			
		単電池電圧		基準 6.69V±0.2V 6.30 ~ 7.24 V以内	最低 ~ 最高	V		
		蓄電池温度		推奨温度：25℃以下	最低 ~ 最高	℃		
		内部抵抗値	正常値	2.90 mΩ未満	~	mΩ	個	
			警告値	2.90 ~ 3.39 mΩ未満	~	mΩ	個	
寿命値	3.39 mΩ以上		~	mΩ	個			
5	端子部の締 付確認	端子部ボルト・ナットの締付確認		緩み・締付不良がないこと				
6	清掃	蓄電池及び収納部のじんあい・汚れの 除去		/				
7	期待寿命	SBA・JEMAの規格による (蓄電池温度:25℃ 0.16CA放電相当)		12年 ~ 14年	/			

交流無停電電源装置 蓄電池充電記録

別紙 3

形 式	SNS-100-6	個 数	18個(54セル)	用 途	監視用		
製造番号	SEXLRD	製造年月	2015年2月	総電圧	V	周囲温度	°C
電池番号	単電池電圧 (V)	内部抵抗 (mΩ)	温 度 (°C)	備 考			
1				上段			
2				上段			
3				上段			
4				上段			
5				上段			
6				上段			
7				中段			
8				中段			
9				中段			
10				中段			
11				中段			
12				中段			
13				下段			
14				下段			
15				下段			
16				下段			
17				下段			
18				下段			

TKGP 300G

自家発電装置



株式会社 東京電機

TOKYO ELECTRIC INDUSTRY CO., LTD.

# 主 要 目 表

形 式	TKGP 300 G	
同 期 発 電 機		
出 力	250	kVA
電 圧	460	V
電 流	314	A
周 波 数	60	Hz
回 転 速 度	1800	min <sup>-1</sup> (rpm)
極 数	4	P
相 数	3 φ 3 W	
力 率	0.8	
保 護 , 冷 却 方 式	保護形(JP20)	自由通風形(JC0)
励 磁 方 式	ブラシレス励磁	
絶 縁 種 類	電機子 H 種	界磁 H 種
工 ン ジ ン		
機 関 メ ー カ ー	株式会社小松製作所	
名 称	SA6D125	
形 式	立形水冷 4 サイクル	
定 格 出 力	255	kW [ 347 PS ]
回 転 速 度	1800	min <sup>-1</sup> (rpm)
平 均 有 効 圧 力	1.54	MPa (15.7kg/cm <sup>2</sup> )
総 行 程 容 積	11.04	L
過 給 機	0.2MPa (2.0kg/cm <sup>2</sup> )	97000min <sup>-1</sup> (rpm)
冷 却 方 式	ラジエータ方式	
排 風 量	420	m <sup>3</sup> / min
冷却水ポンプ吐出量	300	L / min
燃 烧 室 形 状	直接噴射式	
燃 料 油	灯 油	
燃 料 消 費 量	75	L / h
燃 料 タ ン ク	150	L
潤 滑 方 式	強制循環式	
潤 滑 油 量	40	L
始 動 方 式	電 気 始 動 式	
セ ル モ ー タ	DC24 V	7.5 kW
パ ッ テ リ	陰極吸収式鉛蓄電池(MSE)	
パ ッ テ リ 容 量	DC24 V	150 Ah
塗 装 色		
パ ッ ケ ー ジ	5Y7 / 1	

AT- 192386 - 991116

2

整番-10-3-1

●保守点検チェックリスト

保守点検項目	保守点検実施時期				記録表																	
	5年又は300時間				1ヶ月		2ヶ月		6ヶ月		1年		月		月		月		月		月	
	2週	1ヶ月	2ヶ月	6ヶ月	1年	月	日	月	日	月	日	月	日	月	日	月	日	月	日	月	日	
外部点検	○																					
冷却水の点検・補給	○																					
燃料の点検・補給	○																					
潤滑油の点検・補給	○																					
油水分離器のドレン抜き	○																					
燃量タンク・排気消音器のドレン抜き	○																					
冷却ファン駆動用ベルトの点検調整			○																			
冷却水の交換(ラジエータ冷却の場合)				○																		
エンジン各部の増締め					○																	
潤滑油の交換										○												
潤滑油コンジ器フィルターエレメントの交換										○												
エアクリーナエレメントの交換										○												
燃料コンジ器のエレメントの交換・タンクの洗浄										○												
吸・排気弁隙間の調整										●												
燃料噴射弁の点検										●												
ピストンリング・オイルリングの点検																						
吸・排気弁すり合わせ																						
冷却水の点検																						
機関冷却水回路のゴムホースの増締め										○(初回)												
冷却水回路のゴムホースの点検																						
発電機盤・自動盤の点検										○												
ブラスノスリップリングの点検											○											
発電機各部の増締め												○										
絶縁抵抗の測定													○									
始動試験														○								
負荷試験																						
保守運転																						
点検者(管理責任者)捺印																						

故障時の連絡先

●2週間以上の保守点検については、保守点検実施時期を記入し、空欄に点検済の印(○印等)を記入してください。

●毎週点検については、チェックリストに記入せずに、取扱は内容に従って実施してください。

●印の保守点検についてはお買い求めの販売店にご相談ください。

TEL

## 蓄電池設備点検表

令和 年 月 日

納入先	殿			点検者					
型式	kVA発電装置			用途					
蓄電池種類	鉛 アルカリ (ポケット式・焼結式)			MSE	電圧 DC ( V)				
蓄電池型式	AH		製造年月	年	月	製造番号			
充電器型式			製造年月	年	月	製造番号			
蓄電池電圧・電解液比重					周囲温度 ℃				
セル	浮動電圧	均等電圧	比重	液面MAXより	セル	浮動電圧	均等電圧	比重	液面MAXより
1				mm	11				mm
2					12				
3					13				
4					14				
5					15				
6					16				
7					17				
8					18				
9					19				
10					20				
番号	蓄電池項目	良	否	備考	番号	蓄電池項目	良	否	備考
1	電解液面				8	清掃状態			
2	電装・外観				9	接続部の緩み			
3	液口栓状態				10	接続部の発熱			
4	接続状態				11	漏液			
5	電極の色、形				12	パッキンの状態			
6	設置状況				13	減液警報			
7	発錆				14	電解槽側面温度			異常高温の有無
番号	充電器項目	良	否	備考	番号	充電器項目	良	否	備考
1	動作状態				5	清掃状態			
2	表示灯				6	浮動電圧			V
3	警報				7	均等電圧			V
4	メーター表示								
その他									
1. 総補水量 ℓ									
2. 均等充電時間 Hr									
3. 防錆油塗布 実施・非実施									
4. 特記事項									

建築電気盤点検内容		
キャビネット		①盤の取付け状況（支持ボルトの緩み）を確認する。 ②ごみ、振動音、過熱等の有無を点検する。 ③清掃ワックス掛け。
導電部	a 母線、分岐導 体、盤内配線支 持物等  b 端子台	①汚れ、異物、ごみ等の有無を点検する。 ②異音、異臭変色及び過熱の有無を点検する。  変色及び異臭の有無を点検する。
機器		①漏電遮断器のテストボタンにて動作の確認を行う。 ②各機器の異音、異臭、変色及び過熱の有無を点検する。 ③点検時を除き非常用ブレーカーがON（入）になっ ていることを確認する。
絶縁抵抗測定		絶縁抵抗を測定し、その良否を確認する。
接地抵抗		接地抵抗を測定し、その良否を確認する。
その他		安全に使用する事に際して必要と思われる事項が有れば点検する。